

非核の政府を 求める大阪の会

非核の政府を求める大阪の会 豊島 達哉 梅田 章二
 〒542-0012 大阪市中央区谷町 7-3-4 (新谷町第3ビル 210号)
 発 TEL.06(6765)3032 FAX.06(6765)3033
 URL・https://hikaku-osaka.jp/
 行 E-mail・hikaku-osaka1986@kind.ocn.ne.jp
 hikakusaka@hotmail.com

第212号 2022年11月1日

ニュース

世界平和統一家庭連合・解散せよ 旧統一協会は 解散せよ



▲大阪宗平教主催の「統一協会と自民党政治」講演会(大阪市内9月15日)

「旧統一教会」(マスコミ呼称)の問題を当会の世話人の大阪宗教者平和協議会の長田譲事務局長に宗教者としてのコメントをしていただきました。

安倍元首相を銃撃した容疑者の動機は、母親が統一協会に一億円以上の献金を行い、家庭崩壊させられたことへの恨みの犯行でした。この事件に端を発し、連日「統一協会」の霊感商法や自民党との癒着が報道されるようになりました。

そもそも統一協会＝国際勝共連合は、韓国生まれの、反共謀略組織との性格から選挙では1970年代以降自民党の別働隊として活躍していました。以後、集団結婚や霊感商法など反社会的な活動は続けられていたが、NHKをはじめ大手メディア



▲長田 譲 正念寺住職

アが報道しない中で、被害は甚大なものにつくればあがっています。自民党が統一協会との選挙協力を強めてきた背景には、第一次・第二次安倍政権と最も強い関係があったことは明らかです。

宗教を装い、名称変更しても本質は変わりません。キリスト教の弓矢牧師は「統一協会はキリスト教の異端以上に甚だしく異常で反社会的である」また「キリスト教では聖書(旧約と新約)を永遠の神の言葉であると信じているが、彼らは文鮮明が神から啓示を受けて記

- 【非核五項目】
- ① 全人類共通の緊急課題として核戦争防止兵器廃絶の実現を求め核兵器の保有を非核三原則に厳守する
 - ② 日本は戦後、核兵器の保有を拒否し、核兵器の製造・貯蔵・輸送を禁止する
 - ③ 国連の核拡散防止条約(NPT)に加入し、核兵器の保有を拒否する
 - ④ 国際法に基づき、核兵器の保有を禁止する
 - ⑤ 原水爆禁止条約に加入し、核兵器の保有を拒否する

した原理議論こそが正典であると考えている」と指摘されます。

「統一原理」思想がいかに聖書からかけ離れたものであるか、宗教界からもつと批判が成されるべきです。

これ以上世界平和統一家庭連合・旧統一協会の違法で反社会的な行動をやめさせ、被害者家族の救済のために、政治の責任で、宗教法人としての解散命令を迫っていくことは当然のことです。岸田首相と自公政権に、今その責任が問われています。

※大阪宗教者平和協議会とは、1991年11月6日結成された「神も仏もキリスト教も戦争反対」を訴えて平和行進、核廃絶、憲法まもれなど多様な平和活動を取り組んでいます。



第四回目は、少し古くなりますが、1986年に出版された安斎育郎氏の「社会・未来・わたしたち④核戦争と地球―平和をまもるために」です。岩崎書店の「社会・未来・わたしたち」シリーズの一冊です。筆者はご存じ安斎育郎先生です。86年は自民党大会で「非核宣言運動を排撃する運動」を決定し、アメリカのレーガン政権の核軍拡路線に追随する姿勢をしめしました。また、この統一世界大会から総評、原水禁国民会議が離脱しま

した。そうした情勢のもとで、こども向けのわかりやすい核兵器、核戦争の問題を書かれたのが本書籍です。



すべての人は、人間の生存をおびやかす原因です。こうした原因をなくすための行動は、積極的平和を創造する活動です。

- I ここまできた核戦争の準備
- II もしも核戦争がおこったら
- III 核兵器競争はなぜすすむ?
- IV 核戦争をふせぎ、核兵器をなくす力

この積極的平和活動が世界中でとりくまれています。国際法として「核兵器禁止条約」も人類は手にしました。それを実効あるものにするためには、「どうすればいいのか、みんながかんがえてみましょう。」と安斎先生は結びのことばでのべられています。

国民 平和 大行進

核兵器なくせ、沖繩をかえせ、安保をなくせ、の声をあげて(7.12・7.14)

1969年はベトナム情勢の新しい局面をむかえます。南ベトナム解放民族戦線は臨時革命政府を樹立。パリ和平会談が開催されます。一方、国内では日米の沖繩返還交渉が開始。日米両政府は「核密約」を結んで国民の目を施政権返還に焦点をあわせ、日米安保の多角的な反共的アジア核軍事同盟に拡大強化(ニクソンのグアム・ドクトリン)していききました。こうした情勢のもと1969年の国民平和大行進は、広島にむけての行進で第五福竜丸保存運動が取り組まれていた東京・夢の島から出発しました。「ベトナムに広島・長崎を繰り返すな」、「核兵器なくせ、沖繩をかえせ、安保をなくせ」のスローガンをかかげて全国各地から広島にむけて行進がはじまりました。以後、広島にむけての平和行進は、東京・夢の島第五福竜丸前を起点として歩んでいきます。大阪には

東京―広島縦貫コースが7月12日に入ってきました。14日までの三日間、13日には決起集会をおこなう取り組みでした。平和行進中の各地域での集会は25回(延べ2010人参加)に及び、延べ1312人が参加しました。京都から引きついで枚方市役所前での集会では、山村富造市長の挨拶、二木一男大阪府内通し行進者代表団長(大阪平和常任理事、府内通し行進者の先駆者・資料上で実名判明した最初の通し行進者)が決意表明しました。府内通し行進に70人以上の人々が参加しました。中には「靖国神社法案反対」のプラカードをかかげたクリスチャンの方も行進しました。香里団地や市内では乳母車をおした若いお母さんの姿がみられ、城東、都島、旭区では新婦人の会員の方々が冷茶の接待で行進団の労をねぎらいました。北区原水協で

は独自に7月9日夜、野崎公園に約50人があつまり、のぼり、横断幕、提灯を先頭に区内を行進しました。三日間で延べ1312人の参加でした。詳細なコースは府下7コース、以下の通りです。7月11日枚方市役所前→京都より引継ぎ12日は枚方市役所→寝屋川市役所→門真市役所→守口市役所(宿泊)、13日守口市役所→蒲生四→東野田→中之島公園(支流コース合流)→長柄橋→淡路→吹田市役所→川西市役所(兵庫県へ引継ぎ)が基幹コースでした。吹田原水協は吹田市役所から豊中市役所までの行進に156名の参加がありました。



▲枚方を行進(7.12)



中之島剣先公園を行進(7.13)

支流（現在は網の目と表現）コースは以下の通りです。

「和歌山→泉佐野→中之島コース」

7月10日泉佐野市役所前→和歌山から引継ぎ、11日泉佐野市役所→貝塚市役所→岸和田市役所→忠岡町役場→泉大津市役所→高石市役所→浜寺公園、12日浜寺公園→堺市役所→おりの橋→播磨町→天王寺公園、13日天王寺公園→松屋町筋→中之島公園
「奈良→八尾→中之島公園コース」

7月11日国分寺で奈良から引継ぎ、12日八尾市役所→東大阪市役所→近鉄小坂駅→三ノ瀬公園→今里ロータリー、13日今

里ロータリー→上二
↓京阪東口→天神橋
↓中之島公園
各コース常時200
〜300人の行進団が
歩きました。

新

新任世話人紹介

尾崎一美副委員長

大阪自治労連で副委員長をしている尾崎です。仕事は、保育士をしています。今年の4月から、大阪自治労連の専従として働くことになりました。母の影響もあり鹿児島県の知覧特攻平和会館、広島の平和資料館、長野の無言館・松代象山地下壕など、なぜか戦争について・平和について向き合うことの多い半年となっています。
私の労働組合活動の根幹には「平和な世界で子どもたちに育ってほしい」という気持ちがあります。その思いは今も変わっていません。



今もウクライナではロシアによる侵略戦争が起こり、北朝鮮のミサイル発射など、残念ながら、決して“平和な世界”とは言えません。また、「核兵器」を所有している国・軍隊のある国はたくさんあります。
日本国憲法の前文には、「世界中のみんなが豊かで平和に生活できる世界を実現するよ。そのために日本は全力で守っていく」と宣言しています。しかし、いまの国の姿勢はそうはなっていないかもしれません。だからこそ私たちの運動が必要なのだと感じています。本当の意味での「平和」が実現するよう、皆さんと一緒にこれからも運動を進めていきたいと思えます。

秋から冬の

とくみ

❖非核の会近畿交流会

11月26日(土) 13:30

会場：ハートピア京都(京都府立総合社会福祉会館)京都市営地下鉄烏丸線「丸太町」駅下車5番出口(地下鉄連絡通路にて連結)

❖非核大阪の会学習会

テーマ：ノーモア・ヒバクシャ訴訟の歩みと課題

11月28日(月) 17:00

会場：非核大阪の会事務所会議室

❖戦跡ウォーク

12月10日(土) 12:40

集合：京阪天満橋駅改札口(右チラシ)

❖秋の憲法大学習会

11月27日(日) 14:00 資料代500円

会場：東淀川区民ホール

(阪急京都線「上新庄駅」徒歩15分)

主催：大阪憲法会議・共同センター

❖大阪革新懇 講演と文化のつどい

12月4日(日) 13:30開場 14:00開始

会場：エル・おおさか南館5階ホール

参加協力費1000円

戦争の傷あとめぐり第2シリーズ
『大阪 戦争モノ語り〜街かどの「戦跡」をたずねて』の著者
森田敏彦さんのガイドで訪れる

戦争の悲惨さを伝える「戦死碑」と「千人つか」を訪ねる

戦跡ウォーク

第9回

今回の戦跡ウォークは、共同墓地に建てられ、大きな字で「戦死」と刻まれた珍しい兵士の慰霊碑を鶴見区に、アメリカ軍の空襲で無惨に殺された人びとを悼むモニュメントを旭区に訪ねます。戦後では兵士として、戦後でも空襲の被災者として、人間の尊厳を奪う戦争。現在も続く戦争の現実を考えるウォークです。日時・集合場所は以下の通りです。尚、小雨は実施します。

【日 時】12月10日(土) 午後12時40分集合

【集合場所】京阪天満橋駅 東改札口(地下一階)

【コース】天満橋から焼野行きバスに乗り→今津橋で下車→諸口共同墓地(戦死者慰霊碑)→横庭墓地(戦死者の碑)→ももに戻り今津橋で天満橋行きバスに乗り→焼野行き→地下鉄鶴野駅乗車→太子橋今市駅→バス太子橋今市停留所→大阪駅前行きバスに乗り換え→生江停留所下車→生江平礼蔵舎→千人つか(城北公園隣の淀川堤防上)

【解散】城北公園 16時ごろ 歩く距離 2.8キロメートル
※帰路最寄り交通機関 城北公園前停留所→大阪駅前行きまたは天満橋行きのバスに乗り、途中JR城北公園通り駅、地下鉄都島駅を経由

【参加費】無料。(但し、交通費は各自でお願いします)



今回は、歩く距離を少なくするため、バスや地下鉄を乗り継いで移動します。1日乗車券(土・日・祝日)を利用すると600円で乗車できます。京阪天満橋駅には、大阪メトロ谷町線天満橋駅(北改札口)から徒歩約3分。

※体調のすぐれない方は参加を見合わせてください。参加者はマスク必ず着用、水分補給(水筒、ペットボトル)のご準備をお願いします。

参加ご希望の方は資料の準備がありますので、必ず下記まで連絡をお願いします。(お名前及び連絡先電話番号など)

非核の政府を求める大阪の会

TEL: 06-6765-3032 FAX: 06-6765-3033
E-mail: hikaku-osaka1986@kand.ocn.ne.jp

事務局携帯: 090-9273-6758(牛山) / 090-8669-7483(谷本)



署名の力

⑩ 世界を動かす

核なき世界をめざして

長尾ゆり(非核の政府を求める大阪の会常任世話人)

いよいよ、最終回です。この連載を書きながら、あらためて確信したのは、私の少しばかりの体験の中でも「時代は確実に動いている」ことです。「核兵器は存在そのものが悪。人類と共存できない核兵器は違法だ」という「あたりまえ」のことが核兵器禁止条約になるなんて、20世紀には遠い将来の夢だと思っていたものです。

死ぬことも、人間らしく生きることも許さない「核兵器の恐ろしさ」をこの地上にけつして再現してはなりません。わたしたちの運動の成果と真価が問われています。

連載の最後に、やつと「非核の政府を求める会(中央)」の写真載せませす。これは、2015年第9回核不拡散条約(NPT)再検討会議・ニューヨーク行動の写真です。「非核の会」として各国政府への要請書も準備し、全国から25名が参加し数百名の原水協代表団の仲間と行動しました。3日目くらいの集会で、事務長の斎藤さ



「非核の会」の要請書がメキシコ大使の背中を押したかどうかは不明ですが、確実に言えるのは、署名の力です。この行動の5年前、2010年第8回

んがめざとくメキシコ大使を見つけて、「直接大使に手渡せる」と興奮しています。斎藤さんの熱さに動かされ、当時、自治労連委員長、猿橋均さんと一緒に「非核の会」常任世話人として、メキシコのロモナコ軍縮大使に手渡しました。それにしても、メキシコ政府はオーストリアやマレーシアなどと同様、核兵器の非人道的結末の認識の共有から国際社会の一致点をすすめようと素晴らしいイニシアティブを發揮してられました。本来ならば、被爆国日本政府が行うべきことですが。



▲「署名箱」の前に立つ大阪代表団のみなさん(2015)

討会議には、「核兵器全面禁止アピール署名」633万6205筆が国連本部前ハマーシヨルド広場に積み上げられ、国連ケイン上級代表は、「みなさんのメッセージを受けとめ、核軍縮・撤廃の努力でみなさんと力を合わせませす」とスピーチ。

※ストックホルムアピール署名は、全世界で5億集約、日本では7百万、大阪では79万(全国1位)を集約しました。「ヒロシマ・ナガサキからのアピール署名」は1990年7月30日、大阪府民過半数を達成しました。(事務局調べ)

NPT再検討会議で、「核兵器のない世界の平和と安全を達成する」ことを189カ国が合意しましたが、その力は署名です。国連本部前に、日本から運ばれた何百万もの署名が積み上げられ、国連総会場の入口には、署名の現物が3メートルのツイントワーに収められ、各国政府代表に市民社会の願いを思い起こさせたのです。その成果を確信に2015年のNPT再検



▲「ヒロシマ・ナガサキからのアピール」署名行動の先頭にたれたた当会の亀田得治氏(1990年)